

(街頭演説の**基本形原稿 1**)

安平町の皆さん。

私は、町議会議員候補の吉岡政昭です。

私は立候補を決意して以来、たくさんの町民の方とお会いしました。その中で多く聞かれた声は、町会議員は何をしているのか。役場や町長の言いなりじゃないか、と言う声でした。次に多かったのは、道の駅に対する批判でした。

安平町は、「道の駅」建設関連には10億を超えるかかります。さらに赤字が見込まれます。また、「役場庁舎建て替え」を行いました。これには6億を超えるお金がかかりました。さらに議場を新しく作り替えましたこれに1億2千万円かかりました。

この間、安平町は、箱物を多く作り借金を増やしてきました。

今や、安平町の借金は、赤ん坊を含め安平町民一人当たり110万円になっています。

安平町は年々貧しくなってきました。

そんな中、町議会議員の報酬は今月から、1か月に2万4千円上がります。町長に至っては、4万3千円上がります。

いずれも、町民に事前に説明された金額ではありません。

町長の4万3千円に至っては、寝耳に水で、おそらく、町会議員も知らなかったはずです。町議会議員の報酬値上げに便乗した便乗値上げです。

今の世の中、月給がこんなに上がる企業は、日本広といえど1つもありません。なぜ、町長や議員だけが、こんなに値上げされるのでしょうか？それは、人の金だからです。税金だから簡単に上げているのです。

特に安平町の場合は、議員の報酬を考えるメンバーが、全員、議員なのです。

しかも、値上げの検討段階で、1度も町民の意見を聞いておりません。これを当たり前だと思ってはなりません。

同じ議員歳費の値上げでも、安平町と正反対の対応をした町があります。十勝管内の芽室町です。

芽室町には、議員の報酬を議論する議会改革諮問会議というのがありますが、メンバーは5人でその中に、議員は一人もいません。

そしてメンバーの委員は、町民からの公募によって決められています。つまり、議員の報酬値上げに関心のある町民が【自分がやる】と言って手を上げた人が、検討委員になっているのです。それに比べ、安平町の場合は、議会改革特別委員会という組織を作っていますが、そこで検討しましたが、全員議員なのです。議員によって、【議員の報酬を検討している】のです。さらにもう一つ、芽室町は安平町と全く違うやり方でやっています。それは様々なルートで町民の意見募集をやっています。それを町のHPで町民に知らせています。安平町のように、町に批判的な意見を排除するようなことはやっていません。

吉岡政昭が当選しましたら、最初の議会で、まずこの問題を取り上げます。そして、町民に開かれた町政を求めます。

最後に、皆様にお約束を致します。

私は、一般質問を、必ず、行います。そして、町民の切実な問題や安平町の問題を、必ず取り上げ、問題点を指摘し、問題解決を迫ります。また、予算審査委員会、決算審査委員会などでは、税金の使い道を厳しくチェック致します。